

 朝日印刷株式会社

ASAHI PRINTING CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会資料



京都クリエイティブパーク

1. 2020年3月期 決算概要 P3

2. 2021年3月期 業績予測 P8

3. 朝日印刷を取り巻く環境 P11

4. 中期経営計画（AD2021計画） P14



# 1. 2020年3月期 連結決算概要

- ◆ 2020/3期：医薬品向け市場においてGE・OTCが伸長,化粧品向けはインバウンド需要減
- ◆ 増産体制構築に伴う固定費と物流費・原材料費など変動費の増加に伴い減益

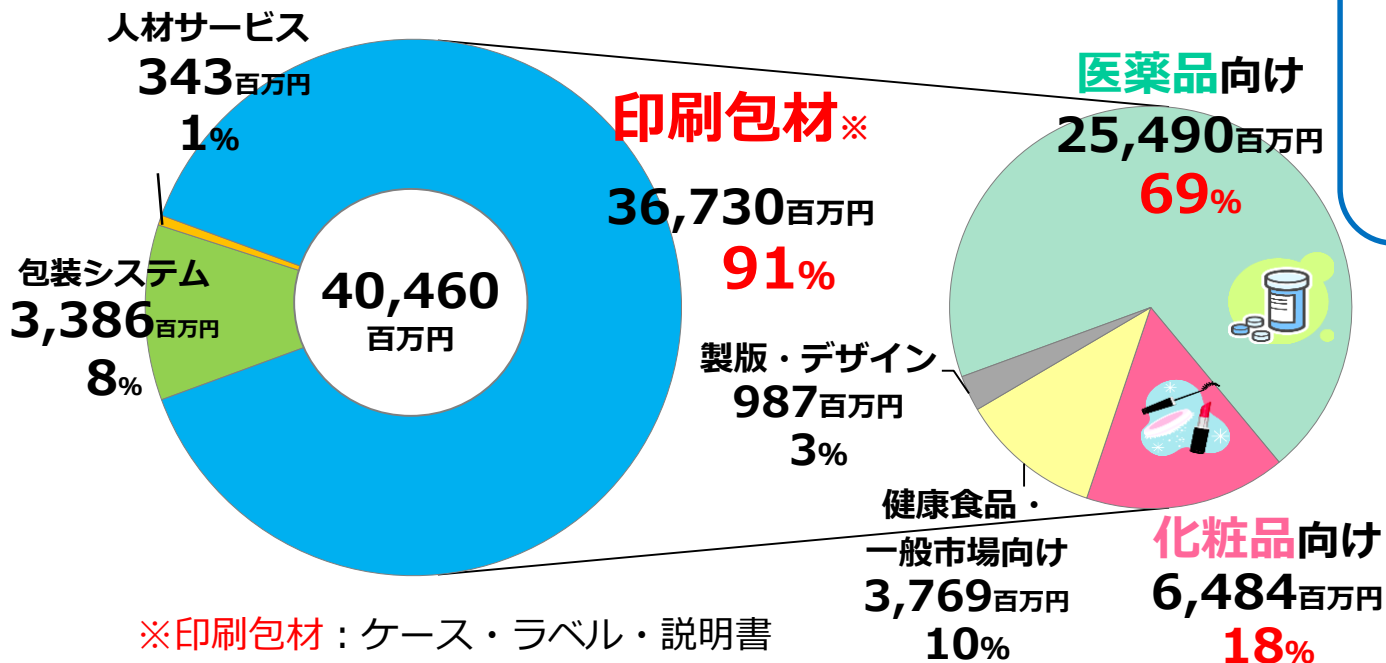
(単位：百万円)

	2020/3期		2019/3期		前期比増減		期初 予想比 (%)
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	%	
<b>売上高</b>	<b>40,460</b>	<b>100.0</b>	39,331	100.0	+1,129	+2.9	▲ 3.0
<b>印刷包材事業 計</b>	<b>36,730</b>	<b>90.8</b>	35,767	90.9	+963	+2.7	▲ 1.8
医薬品市場向け	25,490	63.0	24,100	61.3	+1,390	+5.8	+3.2
化粧品市場向け	6,484	16.0	6,928	17.6	▲ 444	▲ 6.4	▲ 16.9
包装システム	3,386	8.4	3,266	8.3	+119	+3.7	-
人材サービス	343	0.8	297	0.8	+45	+15.4	-
<b>営業利益</b>	<b>1,837</b>	<b>4.5</b>	1,870	4.8	▲ 32	▲ 1.8	+0.9
<b>経常利益</b>	<b>2,173</b>	<b>5.4</b>	2,250	5.7	▲ 77	▲ 3.6	+4.5
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	<b>1,487</b>	<b>3.7</b>	1,660	4.2	▲ 173	▲ 11.7	▲ 0.2

\*印刷包材事業 計に 健康食品・一般市場向け：3,769及び製版・デザイン：987含む



## セグメント別・市場別売上の構成



印刷包材のうち、  
**医薬品**が**69%**  
**化粧品**が**18%**  
を占める



OTC (店頭向) 医薬品



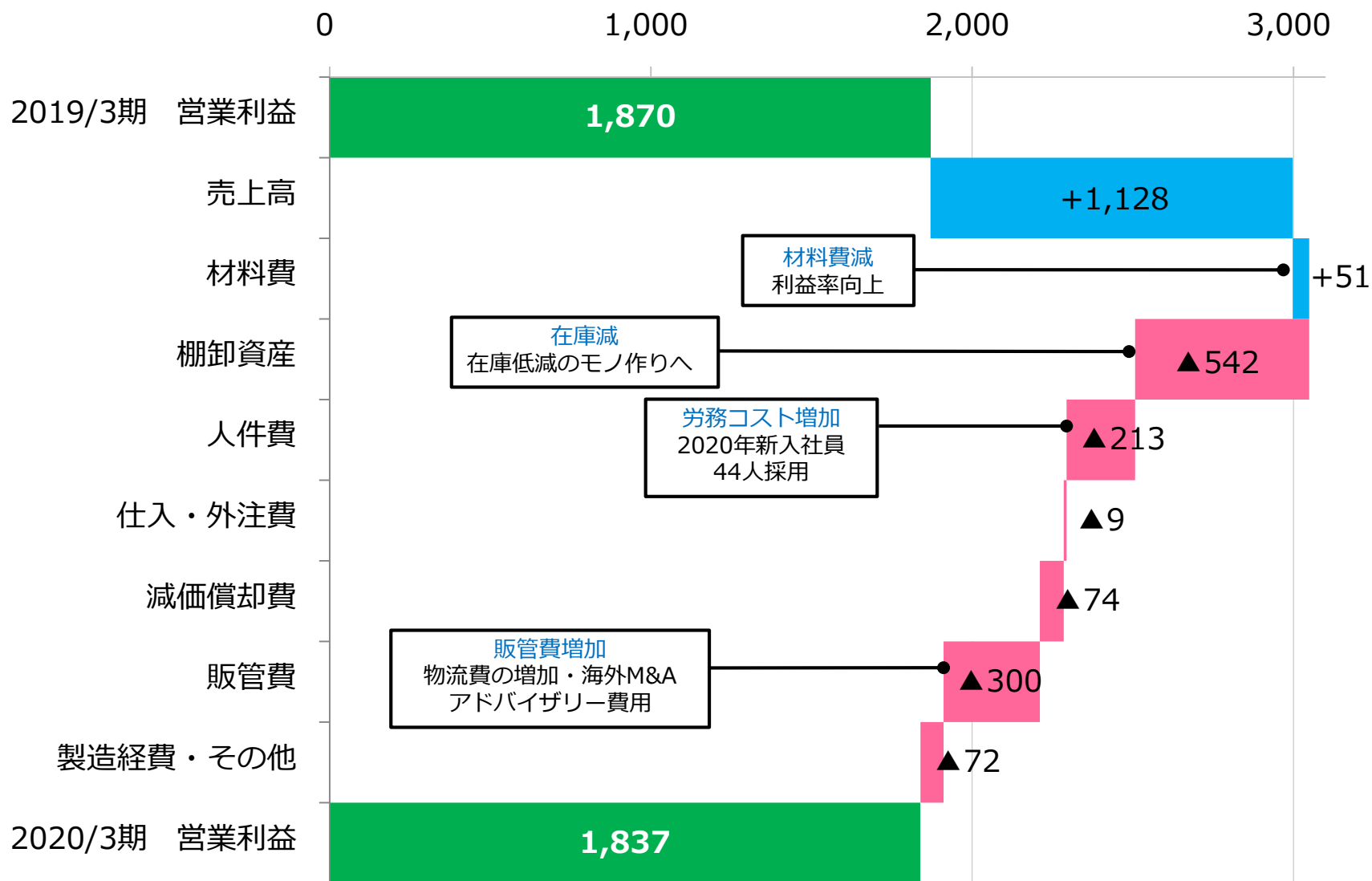
医療用向医薬品



化粧品

# 営業利益の増減分析

(単位：百万円)



# 要約貸借対照表

(単位：百万円)

	2020/3期	2019/3期	増減額
<b>流動資産</b>	<b>24,365</b>	23,145	+1,220
現金及び預金	6,274	5,669	+605
売上債権	14,970	14,253	+717
棚卸資産	2,633	2,809	▲ 176
<b>固定資産</b>	<b>37,405</b>	33,326	+4,079
有形固定資産	29,873	26,124	+3,749
<b>資産合計</b>	<b>61,771</b>	56,472	+5,299
<b>流動負債</b>	<b>13,147</b>	14,295	▲ 1,148
仕入債務	7,147	7,933	▲ 786
短期有利子負債	1,404	1,710	▲ 306
<b>固定負債</b>	<b>18,404</b>	12,880	+5,524
長期有利子負債	16,014	10,620	+5,394
<b>負債合計</b>	<b>31,551</b>	27,176	+4,375
<b>純資産合計</b>	<b>30,219</b>	29,295	+924

**流動資産** 12億20百万円  
・設備投資資金（運資）に充当

**有形固定資産** +37億49百万円  
・京都CP西棟の建設

**長期有利子負債** +53億94百万円  
・設備投資資金として増加  
・手元流動性の強化



## 2. 2021年3月期 連結業績予測

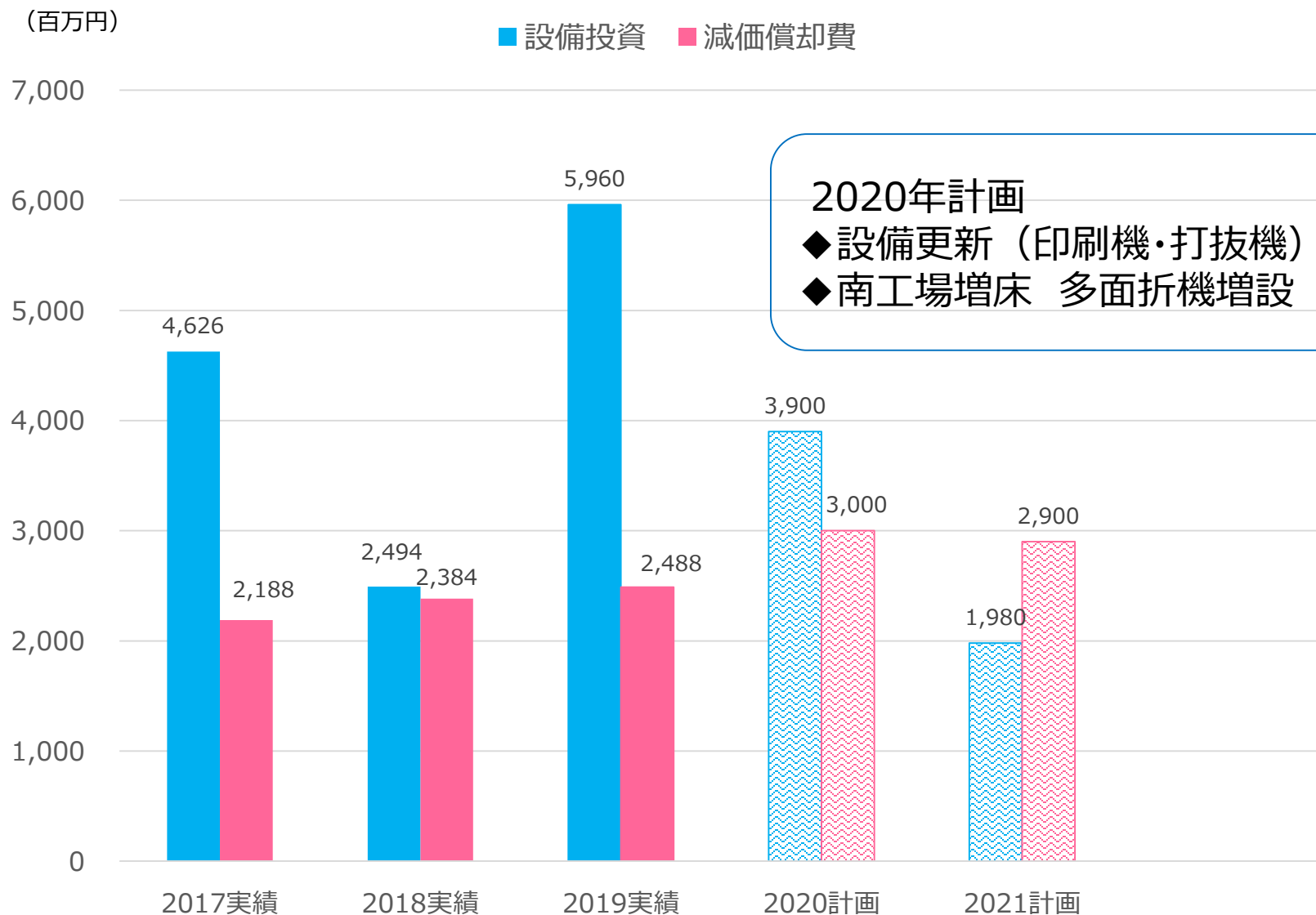


- ◆現時点でコロナウイルス感染症の影響が夏から秋ごろまで継続と予測し、幅を持たせた予測としております
- ◆今期は増産体制構築に伴う労務費や京都C P西棟の償却費など、費用の増加もあり減益予測

(単位：百万円)

	2021/3期 予想		2020/3期		前期比増減	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	%
売上高	40,500 ~39,600	100.0	40,460	100.0	+40 ~▲860	+0.1 ~▲2.1
営業利益	1,080 ~770	2.7 ~1.9	1,837	4.5	▲757 ~▲1,067	▲41 ~▲58
経常利益	1,320 ~1,000	3.3 ~2.5	2,173	5.4	▲853 ~▲1,173	▲39 ~▲54
親会社株主に帰属する 当期純利益	900 ~690	2.2 ~1.7	1,487	3.7	▲587 ~▲797	▲39 ~▲54
EPS (円)	40.39 ~30.96	—	66.74	—	▲26.35 ~▲35.78	—
ROA	1.4~1.1	—	2.4	—	▲1.0~▲1.3	—
ROE	3.0~2.3	—	5.1	—	▲2.1~▲2.8	—
減価償却費	3,000	—	2,488	—	+512	—
設備投資額	3,900	—	5,960	—	▲2,060	—

\*コロナウイルス感染症拡大や終息時期により、連結業績が変動する可能性があります。修正が必要な際は速やかに修正内容を開示致します。





### 3. 朝日印刷を 取り巻く環境

# ① 拡大する医薬品市場

## 骨太方針2017 ジェネリック医薬品の普及促進

- 厚生労働省 数値目標 → GE使用量を**80%**にする  
市場規模は2023年に2018年対比で**30%拡大**
- バイオシミラーやオーソライズドGEの品目数倍増
- ◆ スイッチOTC増加に向け、薬局・ドラッグストアでの体制整備やセルフメディケーションの広がりがカギに

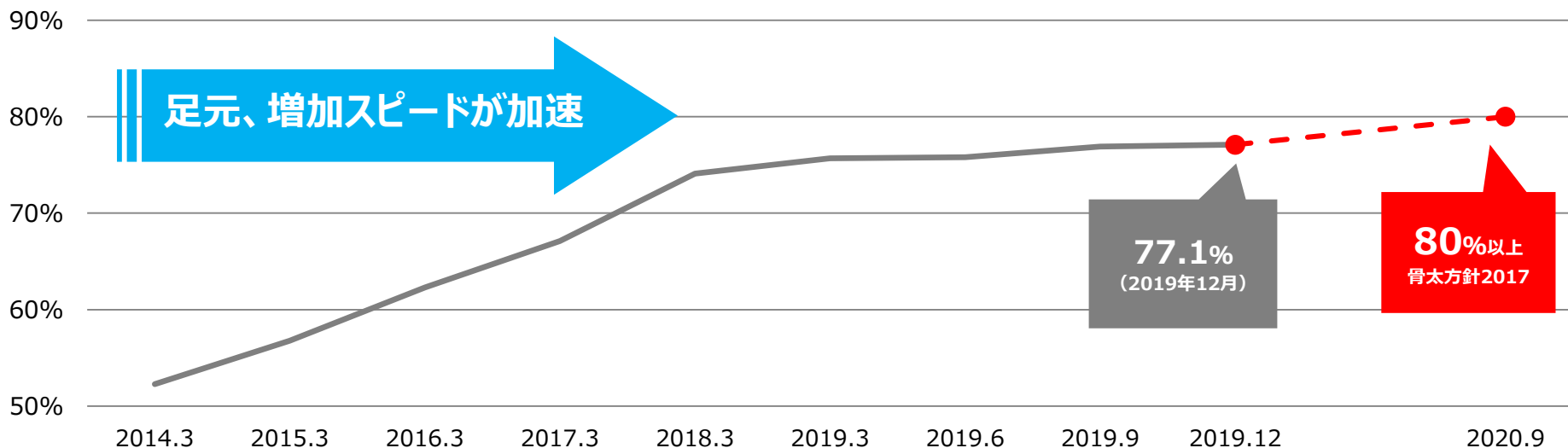
## 当社予測

医薬品使用量は  
高齢人口の増加やGE普及促進、  
お薬の品目増加により  
当面の間 **増加**する

コロナ対応関連製品の  
受注増加予測

## ジェネリック医薬品の数量シェア目標

— 日本ジェネリック製薬協会調べ  
-●- 骨太方針2017シェア目標



## 市場環境

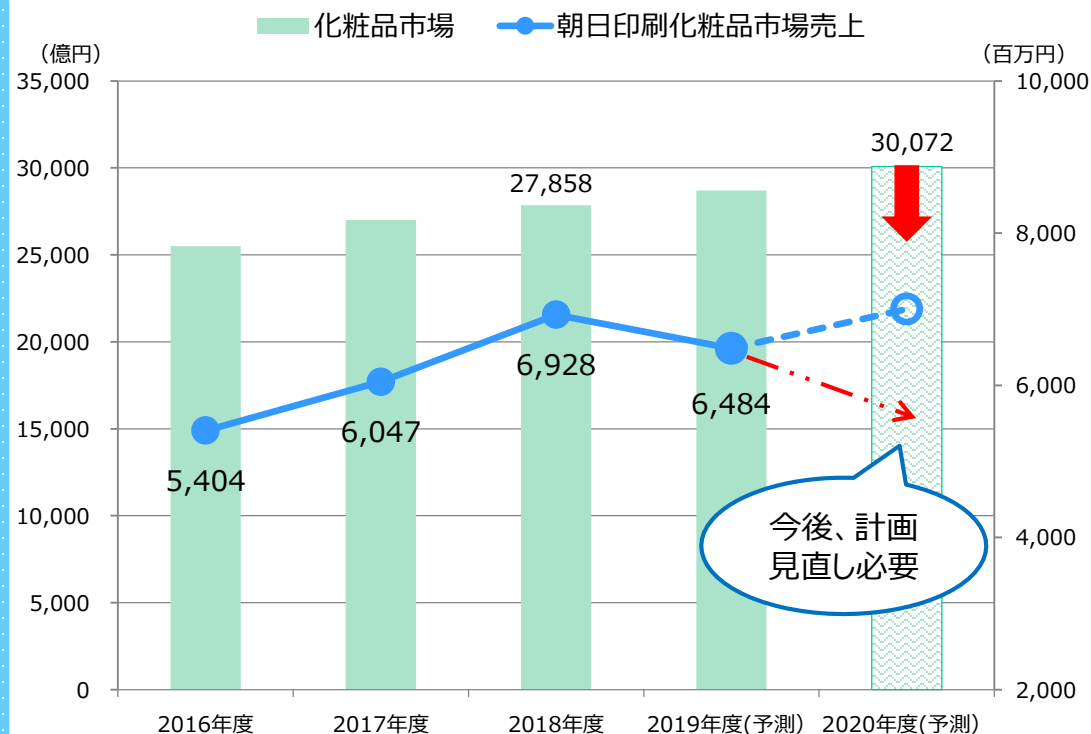
コロナウイルス感染症による  
インバウンド需要の激減

国内化粧品メーカーは  
2020年夏から秋に回復予測

MADE IN JAPANの  
ブランド価値向上  
(国内生産への回帰)

越境ECの定着

国内の化粧品市場規模と朝日印刷化粧品市場売上の推移



出所：富士経済グループ 国内化粧品市場調査 (4)

アフターコロナの動向を注視  
国内製造の流れは継続と予測



## 4. 中期経営計画 (AD2021計画)



# AD20**21**計画

AD2021スローガン

『Open』 The Future !!

包むころを大切に  
日本と世界へ新しい包装文化を発信する

**チェンジ！！感動！！ぶっちぎり！！**

2021年度数値目標

◆連結売上高	450億円	◆ROE	8.00%
◆営業利益率	10.0%	◆配当性向	30.0% 以上

1

## 戦略的売上拡大

ファーストコールカンパニーとして、  
美と健康市場でシェアNo. 1を極める

2

## 利益追求

付加価値生産性の最大化を目指し、  
営業利益率10%以上を目指す

3

## お客様満足向上

全社一丸となった最高の商品・サービスを  
提供し、お客様に選ばれ続ける企業を目指す

4

## 海外進出

Asahiワンストップサービスを実現し、  
海外市場における販売・製造拠点を確立する

5

## 人財育成

多様な人材を獲得し、業界No. 1企業として  
幅広い知識と経験を持った人財を育成する

6

## 技術・開発

他社に先駆けたオリジナルイノベーションを  
創出し、包装業界をリードする

7

## 働き方改革

ワークライフバランスのとれた  
従業員満足度No. 1企業を目指す

8

## 財務戦略

計画的な財務戦略に基づき、  
環境変化に柔軟に対応した経営を実現する

9

## CSR

安心・安全・環境をテーマに、  
地域社会に貢献できる企業を目指す

10

## グループ戦略

Asahiグループ全従業員が、最高の  
パフォーマンスを発揮できる体制を構築する

2017～2021年

2022年～

## AD2021計画（働き方改革）

### ①2017年～2019年

\*グループ内保有設備の稼働率UPに向けた準備期間  
(モノ作り体制のチェンジ)

### ②2019年～2021年

\*チェンジしたモノ作り体制を成長ドライバーとし  
早期に成長軌道に乗せ、目標達成へ！

### 2019年

- 海外企業子会社化へ（マレーシア）
- 朝日印刷ビジネスサポート設立

### 2020年

- 京都クリエイティブパーク西棟稼働
- 海外製造拠点事業開始（マレーシア）
- 子会社スリーエスを吸収合併  
包装システム販売部門の強化へ

連結  
売上高  
375億

最終年度  
2021年目標

連結売上高  
450億  
営業利益率  
10%

新型コロナウイルスなど  
インバウンド市場の  
冷えこみによる影響

終息後  
目標見直し予定

### 2021年

- AI・IoTを活用したスマート工場へ取組（自動化・少人化）
- ◆ テレワークの拡張

売上から収益力  
重視へ

### 2022年

- 国内外朝日グループ新生産体制確立
- ◆ デジタル技術を活用した新市場の開発

連結売上高  
450億  
営業利益率  
10%

## 京都CP増設 東棟・西棟体制へ

### 医療用に加え OTC・化粧品用が製造可能に

#### 更なるシェアUPへ!!





## 一貫生産を可能とする充実した設備ラインアップ

水性グラビア印刷機、両面・多色オフセット印刷機  
 高速箔押機・同時打抜機・検品機能付糊付機など  
 環境に対応した省人・省力設備を導入

初年度売上計画：約10億円  
 3年目目標：約30億円

投資額：約60億円

### 京都クリエイティブパークのコンセプト



#### Creative mind

新たなモノづくりの創生開発

- ◆顧客市場動向を先取りした包装資材生産システムの創造
- ◆機械メーカーとの共同開発を行い、新しい付加価値を提供



#### Innovation park

革新的な工場

- ◆画期的な省人化ラインと新生産方式の導入
- ◆人工知能(AI)を活用したスキルレス化への取組



#### Harmony with the environment

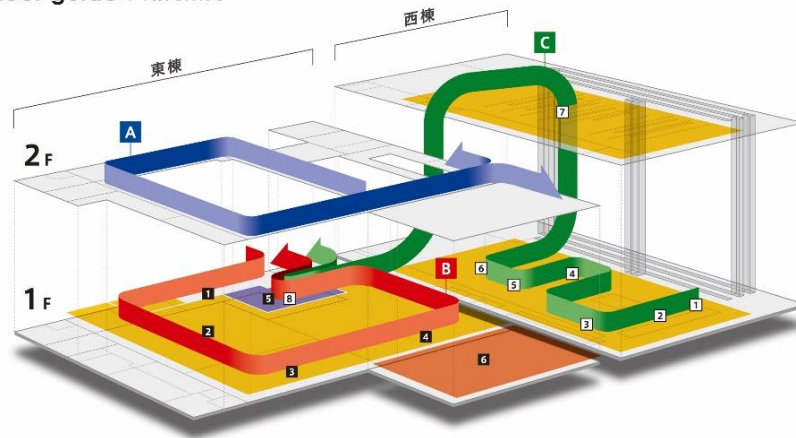
環境との調和

- ◆ISO14001を取得し、環境マネジメントシステムを構築
- ◆CO2削減、リサイクル活動の推進

## 建設の目的

- ◆富山地区と連携した供給体制を構築  
 → **BCP面で更なる信頼向上へ**
- ◆東棟と合わせて医薬品・化粧品向けパッケージ全般を網羅した製造体制  
 → **西日本製造拠点の拡充**
- ◆研究開発拠点として朝日印刷の新たなモノづくりを創造

### Floor guide | 館内案内



**A** スタジアム感覚で見学可能なラウンド式見学者通路

**B** 東棟の製品の流れ

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 原紙・大断工程 | 3 打抜・抜紙工程 | 5 検査・出荷工程 |
| 2 印刷工程    | 4 糊付工程    | 6 厚生棟     |

**C** 西棟の製品の流れ

- |        |          |        |           |
|--------|----------|--------|-----------|
| 1 大断工程 | 3 表面加工工程 | 5 打抜工程 | 7 糊付工程    |
| 2 印刷工程 | 4 箔理工程   | 6 抜紙工程 | 8 検査・出荷工程 |

## 事業継続計画 (BCP: Business Continuity Plan)

- コロナ感染症拡大により、継続して取組んできたBCP対応が得意先へのPRポイントへ
- ◆ 課題：国内外含めたグループ内でのサプライチェーンの再点検・高度化へ

## 国内製造拠点

- 富山工場
- 富山第二工場・富山第三工場
- 富山東工場
- 富山南工場
- 京都クリエイティブパーク 東棟・西棟

## グループ会社

- 阪本印刷 (ケース)
- ニッポー (添付文書)
- 協和カートン (ケース)



京都クリエイティブパーク



富山工場



阪本印刷株式会社

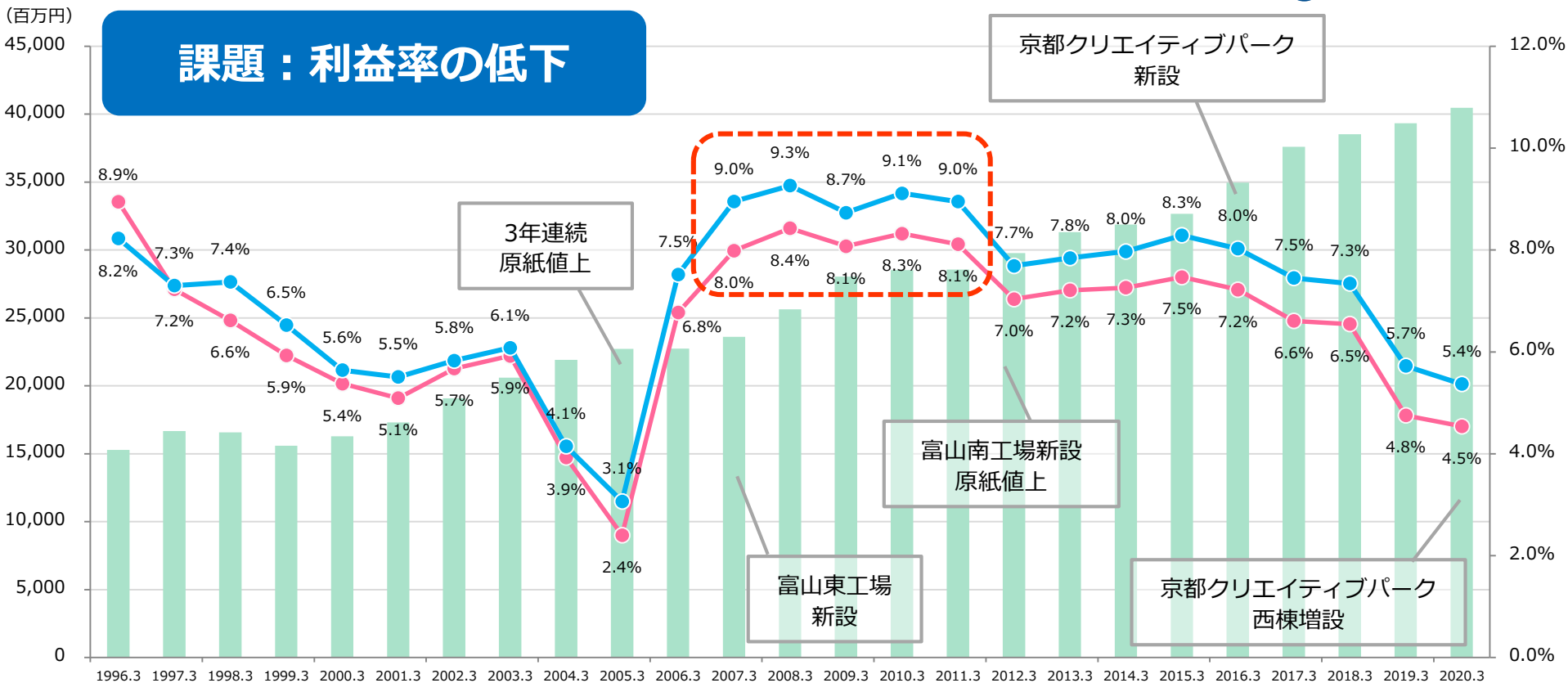


株式会社ニッポー



# ②利益追求 V字回復に向けて

課題：利益率の低下



究極の無駄取り = 出ずるを制する

### 【モノ作り方針の転換】

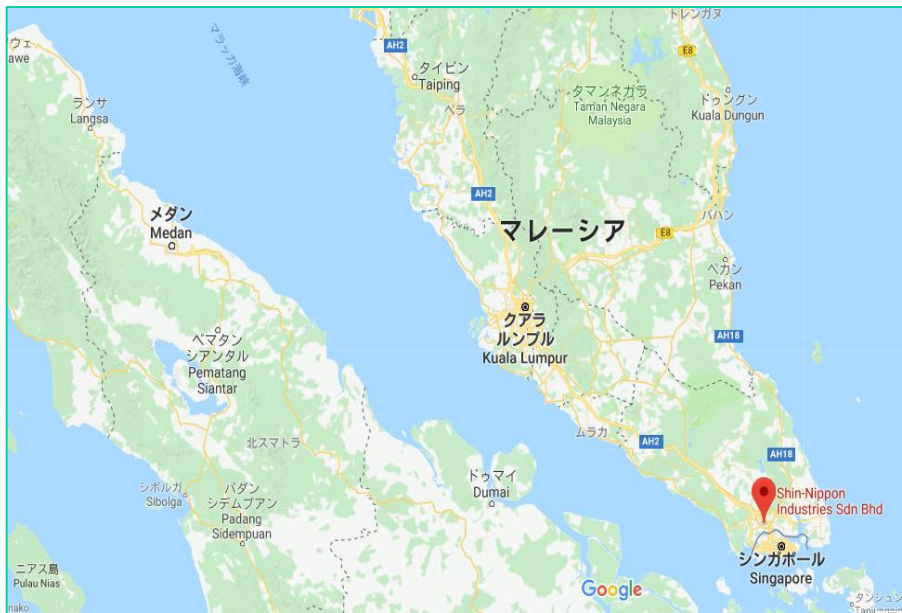
- ・増産体制構築により、納期でお客様にご迷惑をかけることは低減された  
2019年度からは仕掛リードタイムの短縮、在庫低減を徹底し、コスト低減の効果が表れ始めている。

### 【グループシェアリングへの取組】

- ・グループとしての資源・資産（人・モノ・カネ・設備）の有効活用により、グループから外に出る費用を低減する。

# ④Shin-Nippon・Harleigh社 概略

- ① マレーシアの首都クアラルンプールに次ぐ第2の都市（州） ジョホールバルに位置
- ② シンガポールから車で約 30 分、クアラルンプール（首都） から 5 時間程度



会社入場門外観

◆朝日印刷と同じく一貫製造が出来る  
◆品質・モノづくりに対する考えに共感

印刷

大判検査

打抜

箱押

糊付



### 事業A:印刷包材 (売上比率25%)

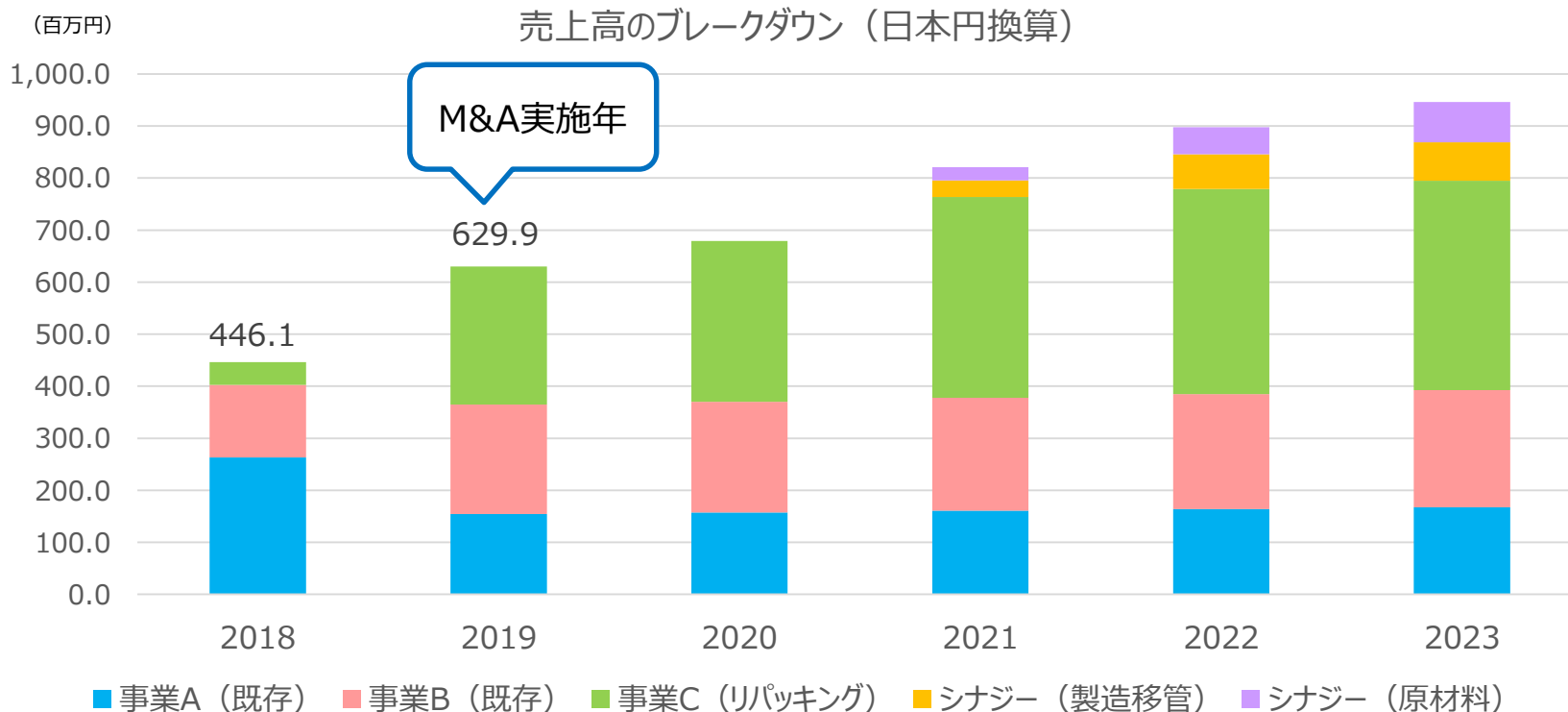
- Shin-Nippon社が主体
- 製版から糊付けまでの一貫製造を行う
- 印刷・ホットスタンプ・打抜き・検品機・抜紙機、  
(ラミネート)、(UVコート)、糊付機

### 事業B:リジッドボックス (売上比率33%)

- Harleigh社が主体
- 化粧品、雑貨、ワインなどの高級品をターゲットとする
- 製造は組み立てなどの手作業がメイン

### 事業C:リ・パッキング (売上比率42%)

- Harleigh社が主体 2018年度よりスタート
- ALCON社コンタクトレンズ包装のリ・パッキング事業  
合わせて、包材・添付文書を受注製造 (Shin-Nippon社にて)



## 【売上増加のシナリオ】

成長戦略1：2018開始事業(リパッキング)の最大化への集中

⇒ 既存顧客の深堀 ⇒ 2022までにシェア50%目標

成長戦略2：グループ戦略によるシナジー売上の積み上げ

① 東南アジア周辺進出済みグローバル企業への包材提供 ⇒ 朝日グループでのワンストップサービス

② 海外調達資材の朝日グループへの販売による売上拡大 ⇒ グループ利益拡大

③ BCP、グループ利益最大化を図る内部取引による売上拡大 ⇒ リスクマネジメント対応に

## コロナ対応による気づき

### 働き方改革を加速

AI・IOTを活用したスマート工場の実現へ  
自動化・少人化・スキルレス化による脱労働集約型



#### ワークライフバランスの向上

働き方選択肢の拡充  
京都CP新交代勤務の実施

#### 社会変化に合わせた変革

テレワークの推進・  
デジタルプラットフォームの構築

# 朝日印刷グループのシナジー効果

朝日印刷株式会社  
ASAHI PRINTING CO.,LTD.

包装・ラベル・機械  
株式会社 スリーエス

- ◆包装システム販売事業の強化
- ◆経営資源の共有・集中

2019年3月期：1人あたり売上

朝日印刷包装システム（17人）・・・166,072（千円）  
スリーエス（18人）・・・49,447（千円）

朝日印刷グループとして  
市場別展開へ再編成し、  
包装システム事業としての業績向上を目指す



# 配当方針について

2020年  
3月期

計 **21円**

中間配当

1株当たり

**10円**

期末配当

1株当たり

**10円**

京都西棟  
記念配当

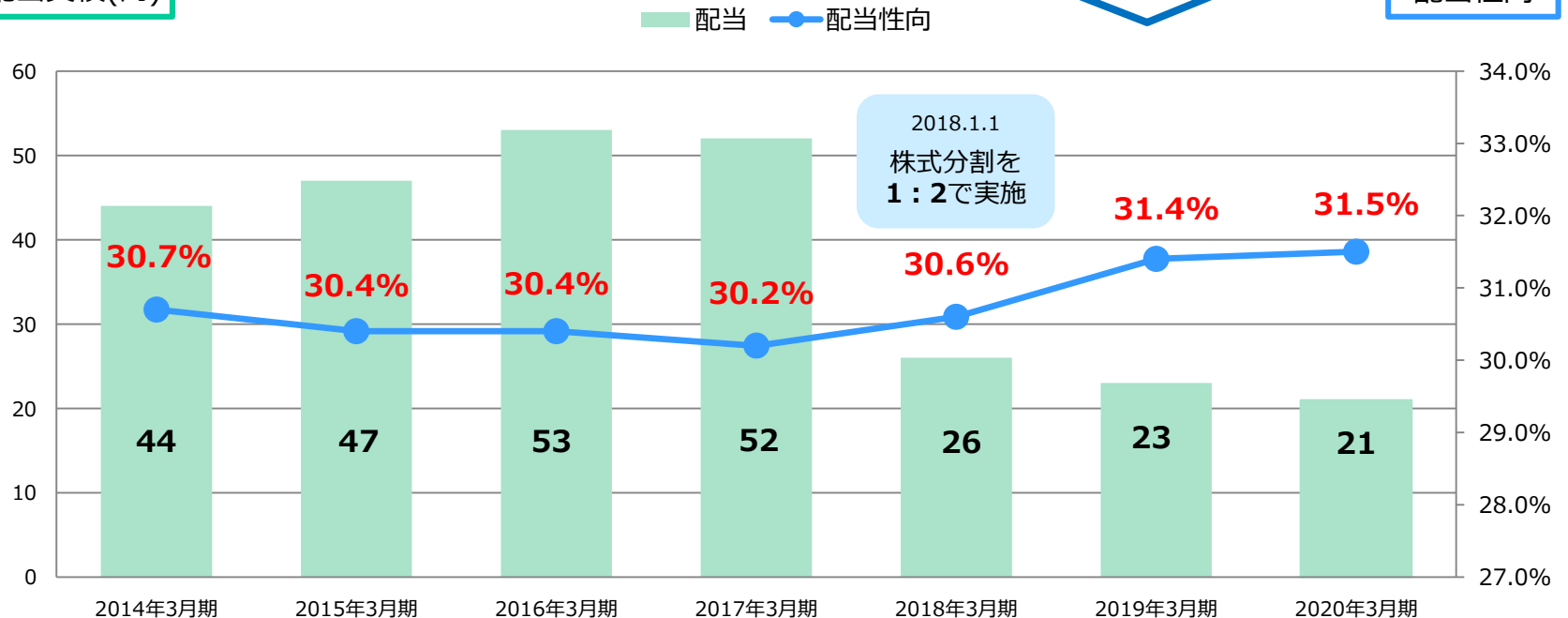
1株当たり

**1.0円**

- ◆ 利益還元を配当で実施することを重要な経営政策と位置付け
- ◆ 安定的な配当の継続を基本とし、連結ベースで配当性向**30.0%**以上をお約束しております
- ◆ 配当予測について現時点では未定としておりますが、2021年度も上記方針の元、配当実施予定。配当予想額を今後公表する予定です

配当実績(円)

配当性向



# 朝日印刷のCSR活動

当社は、事業活動を通じてSDGs推進に貢献していきます。  
美と健康の包装に関する事業を環境と調和させ、安定供給を行うことで、社会的使命を果たし、お客様と社会に貢献していくことを目指しています。  
その為にCSR活動に対する基本的な考え方を定め、その活動を5つのテーマに分けて推進します。



朝日印刷公式キャラクター  
パッケージくん



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です



# ご清聴ありがとうございました！



＜お問い合わせ先＞ 朝日印刷株式会社 社長室  
TEL : 076-491-6137  
MAIL : home@asahi-pp.co.jp  
HP URL : <https://www.asahi-pp.co.jp/>

- この配布資料に記載されている業績予想および見通しは、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境等の不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。
- 投資者一般への情報伝達を目的としており、当社の株式その他有価証券等の売買等を勧誘または推奨するものではありません。



世界遺産 五箇山合掌造り